

# メイドインアキタ

## 自動車産業振興に挑む

Made in Akita

自動車のエンジン部品や変速機部品を製造する大橋鉄工（本社北名古屋市）は、秋田県横手市で新工場を本格稼働させた。「自動車産業発展のきっかけにしたい」と地元への期待が高まる中、大橋雅史社長に秋田進出の狙いや今後の展望について聞いた。

―国内第2の拠点到秋田を選んだ理由は。

「本社工場のある北名古屋市と雰囲気似ていて、非常に親しみやすい地域という印象を受けた。また、農業が盛んな地域には、つくるというDNAを持った人が多く集まっており、これからの日本のモノづくりを継続・発展させて

いける可能性を感じた。精度の高い部品を製造するには、より高い技術が必要だ

「BCP（事業継続計画）対応を強化する点」が秋田進出の大きな理由の一つだ。自然災害など不測の事態への備えを十分にすることが必要であった。BCP対応の態勢を構築しながら、新興国向けに需要の拡大が見込まれる自動変速機部品の増産対応も進める。取引先や秋田の関係者のおかげで、創業100年の節目に大橋鉄工秋田（横手市）を設立できた。先人から受け継いできたモノづくりの文化を継承

# 地域とともに成長目指す

## その④

### 大橋雅史（大橋鉄工）社長に聞く

が、技術開発に熱心な秋田ならマッチすると思った」「ていきたい」

の熱心な姿勢に加え、大橋鉄工本社のメンバーの地道な努力があったからこそ実現できた。2013年にベトナムに現地法人を設立

「秋田での課題は、「お客さまの求めるニーズにしっかり応えるモノづくりを継続していくこと

「この連載は菊地治滋が担当しました」

## モノづくり文化を継承

「秋田の方々の連続立ち上げに力を注

「秋田の方々の連続立ち上げに力を注

「展望について。」



「秋田で事業を拡大し、雇用も増やしていく」と語る大橋社長

「メイド・イン・アキタ、製品を世界に届けていきたい。世のため、人のためになるモノづくりを行うことが当社の経営理念。秋田でも安全・安心な現場環境をつくり、事業拡大を進め雇用を拡大させたい。現在の従業員数は9人で、将来的には50人体制を目指す。秋田の自動車産業の発展に貢献していきたい。地域とともに安定的に成長できるように努めていく」

